

少年の主張

来月は、2年大塚くんの主張を掲載します。

一緒に暮らすということは 別保中学校3年 森田菜央

ぐぐぐーっ。「腕がもう限界、助けて!」

重い。水面にぬうっと姿を現したのは、私のピアノの楽譜より大きい魚だった。「カレイや」父は興奮気味に糸をたぐりよせた。こんな大きな魚が釣れるなんて。瞬きも忘れて、背中の複雑な模様を隅々まで見た。絵で表すことができるのだろうか。自然の作り上げた芸術みたいで、波打つように泳ぐユニークな魚だった。魚と目を合わせて「じゃあね」とお別れをすると、魚はひらひらと釧路の海に戻っていった。

みなさんは、釣りをしますか？

私と釣りの出会いは4歳の夏、父に連れられた日からだ。始めのうちは、暑い、動くエサは怖い、いつまでたっても釣れないので、何にも面白くなかった。それなら家でピアノを弾いている方が楽しいと思っていた。

ある日、ふと海を覗き込んだ時、足元に見たこともない世界が広がっていることに気づいた。波に漂う昆布、周りを泳ぐ魚。足元を歩いていたカニも、急いで滑り落ちるように海に入っていく。私は釣れた魚しか見ていなかったと実感した。彼らが住む世界は私が想像するよりもっと違う表情があり、豊かな世界が広がっているのではないか。それ以来、私は魚たちの世界に興味を持つようになった。今の時期、魚たちは何を食べ、どんな所でどんな生活をしているのだろうか。

しかし、手放して楽しめないことが起きた。去年の夏、父といつもの場所に釣りに出かけた時、海の様子がいとも違っていた。赤色の絵の具が漂うように濁っていたのだ。

それは、後で偶然ニュースで知った赤潮だった。赤潮は海水温の上昇による現象と考えられているそう。まさかこの北海道の沿岸で起こるとは私だけでなく、父も知らなかった。これは環境が異常な変化を示していることを自然が警告しているに違いない。テレビの画面ではたくさんの死んだウニが海底を灰色に変えていた。あの小さなカニは、岸边にいた小魚たちはどうになってしまうのだろう。

海の変化を目のあたりにして、初めて地球環境問題が私の心に刺さった。調べてみると、近年北海道沿岸の海水温が上昇傾向にあり、プランクトンが大量発生しやすい環境になっているのではないかと。地球温暖化の影響が自分の身近にあることにショックを受けた。赤潮だけではない。浜辺を見渡すとたくさんのごみが打ち上げられている。このような状況を目のあたりにして初めて海の汚れが進んでいることを知り、とても悲しくなった。このままではいけない、自分にできることはないだろうか。



国連では、SDGsを設定して将来の世代のニーズも満たすため協力しようと取り組んでいる。身近な取り組みはプラスチックごみの削減と節電だ。これは中学生の私にも簡単にできるし、周りの人にも薦めることができる。そして、私たちはSNS世代だ。インスタグラムやツイッターに投稿し、釧路の海の素晴らしさや海の現状を多くの人に知ってもらえることができる。一緒に暮らすということは、海の豊かさを維持する責任を持ち、私たちだけでなく海の生き物にとっても一緒に暮らしている町にすることだと、私は思う。

今年の春、今日はダメかなと思った矢先に大きなカレイがかかった。そして、また海に「人間の世界を話しておいで」と返す。穏やかな風が吹く海を見て、「釧路にもカレイが戻ってきたなあ、春が来たなあ」と父が呟いた。その言葉を聞いて、私はなんとなく心の中にあつた釣りが好きになった理由がはっきりと分かった気がした。魚との出会いは季節との出会いで、釣りは私に四季を感じさせてくれていたのだ。春夏秋冬それぞれで毎年出会える顔ぶれ。それは、私たちが住んでいるこの陸上と同じように、自然がいつも変わらない営みを繰り返していることである。私も釣り人として魚と海に優しい活動をしたい。これからは、出会った魚たちに「人間たちの世界もなかなかいいよ」と言ってもらえるように。海の町で暮らす一人として。

生活リズムチェックの結果です

7月3日からの1週間で、「生活リズムチェックシート」を使用して、生活状況の記録を行いました。その結果をお知らせします。

《生活リズムについて》

大部分の生徒は、一定のリズムで生活しています。睡眠時間も7~8時間と、しっかりとれている生徒が多い結果でした。ただし、極端な生活リズム（朝方に就寝、極端に睡眠時間が多い、少ない）の生徒が少しずつ現れています。

《家庭学習について》

各学年とも家庭学習の提出率は高く、家庭学習の時間が確保されている生徒が多い結果でした。チャレンジノートとして、委員会活動での点検項目としている点も、提出率の高さにつながっていると思われます。家庭学習の内容については、さらに内容のレベルアップを期待します。

《メディアの時間（テレビ、ゲーム、スマホ等について）

メディアの時間については、1年生の使用時間が1年生にしては多い傾向でした。2年生は昨年と比べると減少しました。3年生では、3時間以上使用している生徒が多く、就寝時間が遅くなる原因となっています。

《朝食について》

朝食を食べない日がある生徒が、少しずつ増加しています。

【これからに向けて】

よりよい生活習慣を確立するために関係する委員会活動、生徒会の取り組み、保護者への協力・依頼を今後も継続していきます。ご家庭でのご協力の程、よろしくお願いいたします。